

# 病院長からご挨拶



地方独立行政法人奈良県立病院機構  
奈良県西和医療センター  
院長 横山和弘

今回の「ファミリー～みむろ～」第4号は盛りだくさんの内容となっています。

本年4月より渡辺明彦、川手健次の両先生を副院長としてお迎えし、奈良県西和医療センターの外科系は大きく充実します。

渡辺明彦先生は、奈良県を代表する消化器外科指導医で、消化器外科手術全般、とくに食道がんの手術を得意とされ、これを契機に消化器内科・消化器外科が協力する消化器病センターの立ち上げを考えているところです。

一方、川手健次先生は、人工股関節置換術を中心とした手術のスペシャリストで、平成29年4月1日より新たに「人工関節センター」を院内に設置しました。同時に整形外科部長として寺西朋裕先生が加わり、整形外科の診療体制の飛躍的な充実を目指します。

今回の診療科紹介は、循環器内科です。当院の循環器内科は、昭和54年4月の病院開設時より現在に到るまで常に時代の最先端の治療技術を携えて、患者さんの治療に当たってきました。心筋梗塞、狭心症、不整脈等に対する最近の内科的治療が紹介されています。これらをより安全に行なえるのは、平成5年10月に開設した心臓血管外科のバックアップがあると言っても過言ではありません。優秀な循環器内科医と優秀な心臓血管外科医が密接に連携して患者さんを治療できる循環器病研究センターの存在が当院の最大の強みと考えています。

今回の病気の話は、心房細動という不整脈の一種です。脳卒中など重篤な病気を引き起こす可能性があるが故に、治療が必要なのです。循環器内科が治療に最も力を入れている分野の一つです。

今回のファミリーは情報量が多く「特集号」としてしています。少しでも地域住民の皆様方の健康に貢献できれば幸いです。

# 新副院長からご挨拶



地方独立行政法人奈良県立病院機構  
奈良県西和医療センター  
副院長 渡辺明彦

このたび平成29年4月より奈良県西和医療センター副院長に就任いたしました渡辺明彦です。私は奈良市にございます奈良県総合医療センターにおきまして、約20年間、がんの集学的治療（手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアなど）に従事してまいりました。

総合医療センターは西和医療センターとともに同じ経営母体である奈良県立病院機構に属しております。今後は両センターの「連携」や「融合」を合い言葉に、お互いの長所をさらに発展させ、弱いところを補っていけるように交流させることが私に与えられた使命と考えています。

西和・外科の得意分野は腹腔鏡を用いた「身体に優しい手術」でありますし、総合・外科の得意分野は食道がんや

## 専門医

日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

## 専門分野

消化器外科全般  
集学的がん治療  
上部消化管外科  
腹腔鏡外科

肝胆膵系のがんなどの「高難度手術」であります。これらの手術を行う際に、お互いの技術指導医を派遣し合うことによって、さらにレベルの高い医療が提供できると考えています。

西和医療センターの診療理念「いい医療をより多くの患者さんへ」の実現に向けて努力してまいりますので、皆様のご指導ならびにご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



# 新副院長からご挨拶



地方独立行政法人奈良県立病院機構  
奈良県西和医療センター  
副院長 整形外科 川手健次

はじめまして。4月1日から赴任しました整形外科の川手です。

竜田で生まれ、昭和58年に奈良県立医科大学整形外科学教室に入ってから数病院で勤務したのち平成元年から3年間この病院の前身である三室病院でお世話になり、アメリカ留学後22年間奈良県立医科大学で勤務しこのたび再度お世話になることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

専門は股関節外科、骨再生医療ですので人工股関節について簡単に書かせていただきます。

人工股関節は約60年前にイギリスから始まり世界に広まりました。しかし手術してからしばらくするとゆるんでくる症例が大量に出現し、そのため手術後10年から15年たつと入れ替えが必要といわれ、人工股関節置換術は65歳にならないと手術はできないとされてきました。しかし私がハーバード大学に留学したころから研究が進み、軟骨のかわりにあたる部分

## 専門医

臨床研修指導医  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会指導医  
スポーツ医

## 専門分野

股関節外科、人工関節

が強化され、現在では何十年ももつようになりました。しかし人の動きは大変複雑であることや、体重、使い方によって（激しい運動をしたり重い物をよく持ち歩いたり）人工股関節のもつ期間はかなり変わってきます。人工股関節の目標はあくまで不便のない日常生活を送っていただくということです。

最近では日本でも年間約6万件の人工股関節がされており今後も増加することが予想されます。平均寿命は延び続けていますが、人のお世話にならず自分で歩いて不自由なく暮らすことができるという意味の健康寿命が大切です。手術によって苦痛から解放され快適な生活を送っていただくことを願ってこのたび当院では“人工関節センター”を開設させていただきました。手術は患者さんのよくなろうという意志と病院スタッフ全員の協力と手術後の使い方によってはじめて成功いたします。退院してご近所の方にきれいに歩くようになったと褒めていただいたり、股関節が悪かったとは思えないと驚かれたりなるよう願ってがんばりたいと思います。

# 新任医師紹介

平成29年4月付け

## 整形外科部長



てらにし ともひろ  
寺西 朋裕

専門医・専門分野

- ・日本整形外科学会専門医
- ・股関節外科
- ・人工関節

## 産婦人科医長



こいけ なつき  
小池 奈月

専門医・専門分野

- ・日本産科婦人科学会専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会会員
- ・婦人科腫瘍学会会員

## 外科医員



たかぎ ただたか  
高木 忠隆

専門医・専門分野

- ・日本外科学会会員
- ・日本消化器外科学会会員
- ・消化器外科全般

## 循環器内科医員



やの ひろき  
矢野 裕己

専門医・専門分野

- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本循環器学会会員
- ・日本不整脈学会会員
- ・内科全般および不整脈学

## 腎臓内科専攻医



たさき ひかる  
田崎 光

専門医・専門分野

- ・日本腎臓学会会員
- ・BLS、ACLSプロバイダー
- ・透析、および一般内科腎臓内科

## 循環器内科専攻医



とよかわ のぞみ  
豊川 望

専門医・専門分野

- ・日本内科学会会員
- ・日本循環器学会会員
- ・内科全般 および救急医学

## 麻酔科専攻医



おがわ ゆうき  
小川 裕貴

専門医・専門分野

- ・麻酔科標榜医
- ・日本麻酔科学会認定医
- ・麻酔科全般

## 臨床研修医

### 初期臨床研修医



おにし まさてる  
大西 将央

### 初期臨床研修医



おだ ゆうき  
小田 侑希

### 初期臨床研修医



そが まさひろ  
曽我 真弘

### 初期臨床研修医



はね あやか  
羽根 彩華

### 初期臨床研修医



みぞはた ひでき  
溝畑 英樹

### 初期臨床研修医



みたに かずひろ  
三谷 和大

### 初期臨床研修医



わたなべ かずき  
渡部 一貴